

学習指導要領		スタンダード「基礎」
(1) 世界史へのいざない ア 自然環境と歴史 歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。 イ 日本列島の中の世界の歴史 日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。	[大河流域の生活と歴史] ・大河流域に形成された古代文明周辺の自然環境の特色と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。 [海洋の生活と歴史] ・漁撈や交通・交易の場としての海洋の特色と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。 [草原の生活と歴史] ・内陸アジア北部にひろがる大草原の自然環境の特色と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。 [オアシスの生活と歴史] ・内陸アジア南部などの砂漠に点在するオアシスの自然環境の特色と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。 [森林の生活と歴史] ・熱帯林・温帯林・亜寒帯林など様々な森林と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。 [日本と世界の人々との交流] ・日本列島を訪れたり、日本列島から海外に渡ったりした使節や僧侶、商人などを通して、世界との関係や交流の事跡を知る。	
	[外来の道具や技術の伝播] ・外来の道具や栽培植物、技術、日本列島内の各地や身近な地域に残されている遺跡や遺物などについて知る。	

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
[大河流域の生活と歴史] ・大河流域に形成された古代文明が、自然環境と深くかかわることによってその地域特有の生活・文化に発展したことを理解する。 [海洋の生活と歴史] ・漁撈や交通・交易の場としての海洋と深くかかわることによってその地域特有の生活・文化に発展したことを理解する。 [草原の生活と歴史] ・内陸アジア北部にひろがる大草原の自然環境の特色と遊牧民とのかかわり、その地域特有の生活・文化の形成について理解する。 [オアシスの生活と歴史] ・内陸アジア南部などの砂漠に点在するオアシスの自然環境の特色と人類の生活や活動とのかかわりが、その地域特有の生活・文化に発展したことを理解する。 [森林の生活と歴史] ・多様な気候帯に応じて生活に必要な様々な森林資源を手に入れ、その地域特有の生活・文化が形成されたことを理解する。 [日本と世界の人々との交流] ・日本列島を訪れたり、日本列島から海外に渡ったりした使節や僧侶、商人などが渡航に至るまでのいきさつやその時代の様子を大観し、世界との関係や交流の事跡を理解する。	[大河流域の生活と歴史] ・大河流域に形成された古代文明が、自然環境と深くかかわることによってその地域特有の生活・文化に発展したことを理解し、治水や灌漑を行い、河川を管理することが、文明の在り方に影響を与えたことを説明できる。 [海洋の生活と歴史] ・漁撈や交通、交易の場としての海洋が、経済や文化の交流、情報伝達を促す役割を果たしたことを説明できる。 [草原の生活と歴史] ・内陸アジア北部にひろがる大草原において遊牧民の機動力に富む文化が形成されたことを理解し、農耕地帯との接触によって、遊牧民と農耕民の間に交流、対立等の関係が生まれたことを説明できる。 [オアシスの生活と歴史] ・内陸アジア南部における人々の生活や活動について、隊商による交易活動の在り方などを理解し、この地域で発展した東西交易路について説明できる。 [森林の生活と歴史] ・人類の生活の中で森林の果たす役割を理解し、森林資源と文明の盛衰との関係について説明できる。 [日本と世界の人々との交流] ・日本列島を訪れたり、日本列島から海外に渡ったりした使節や僧侶、商人などを通して、その時代の様子や世界との関係、交流の事跡、歴史的役割や社会的影響について説明できる。
[外来の道具や技術の伝播] ・外来の道具や栽培植物、技術、日本列島内の各地や身近な地域に残されている遺跡や遺物に触れ、文明を支えたものや技術など、現在まで受け継がれた文化について理解する。	[外来の道具や技術の伝播] ・外来の道具や栽培植物、技術、日本列島内の各地や身近な地域に残されている遺跡や遺物に触れ、文明を支えたものや技術などを理解し、伝播や変容を経て現在まで受け継がれていることを説明できる。

学習指導要領	スタンダード「基礎」
<p>(2) ア ユーラシアの諸文明 自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p> <p>一体化と日本</p>	<p>[日本の文化や生活] ・日本列島内の各地や身近な地域に残る祭礼や伝説、年中行事、歳時記、文字、暦などについて知る。</p> <p>[日本に伝来した外来の宗教] ・仏教やキリスト教など外来の宗教を通して日本と世界のつながりを知る。</p> <p>[東アジアの文明] ・漢字文化、儒教、中国を中心とした国際体制などいくつかの事例を通して、日本を含む東アジアに形成された文明の特質を知る。</p> <p>[南アジアの文明] ・仏教とヒンドゥー教、カースト制度、イスラームの影響などいくつかの事例を通して、南アジアに形成された文明の特質を知る。</p> <p>[西アジアの文明] ・古代オリエントの遺産、イスラーム教などいくつかの事例を通して、西アジアに形成された文明の特質を知る。</p> <p>[ヨーロッパの文明] ・古代ギリシア・ローマの遺産、キリスト教などいくつかの事例を通して、ヨーロッパに形成された文明の特質を知る。</p> <p>[諸地域世界の交流] ・世界が一体化に向かう前提として、8世紀以降のユーラシア地域間交流について知る。</p> <p>[世界の一体化とヨーロッパ] ・ヨーロッパでのルネサンスや宗教改革などの動き</p>

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<p>[日本の文化や生活] ・日本列島各地に残る祭礼や伝説、年中行事、歳時記、文字、暦などについて、歴史的な背景や由来を理解する。</p> <p>[日本に伝来した外来の宗教] ・仏教やキリスト教など外来の宗教と日本古来の思想との関係について理解する。</p> <p>[東アジアの文明] ・東アジアの農耕地帯に成立した中華文明と内陸アジアの乾燥地帯に台頭した遊牧国家の動向を中心に、日本を含む東アジアの形成過程や文明の特質を理解する。</p> <p>[南アジアの文明] ・古代インド文明を中心に、南アジア独自の宗教と社会制度を基盤とする文明の形成過程や特質を理解する。</p> <p>[西アジアの文明] ・西アジアにおける古代オリエント文明とイラン人の活動、アラブ人とイスラーム帝国の形成過程や特質を理解する。</p> <p>[ヨーロッパの文明] ・古代ギリシア・ローマ文明、キリスト教を基盤とした東西ヨーロッパ世界の形成過程や文明の特質を理解する。</p> <p>[諸地域世界の交流] ・8世紀以降のユーラシアの海・陸のネットワークについて、諸地域世界の交流が活発化し、諸地域世界が再編されたことを理解する。</p> <p>[世界の一体化とヨーロッパ] ・ヨーロッパでのルネサンスや宗教改革などの動き</p>	<p>[日本の文化や生活] ・日本列島各地に残る祭礼や伝説、年中行事、歳時記、文字、暦などについて理解し、その変遷の歴史を世界史的視野から説明できる。</p> <p>[日本に伝来した外来の宗教] ・外来の宗教と日本古来の思想との関係について理解し、外来の宗教の受容の在り方や展開について説明できる。</p> <p>[東アジアの文明] ・東アジアと内陸アジアの地理的特質、中華文明の起源と秦・漢帝国、唐帝国、内陸アジア諸民族の動向について概観し、日本を含む東アジア世界の形成過程や文明の特質を説明できる。</p> <p>[南アジアの文明] ・南アジアの地理的特質、インダス文明、アーリヤ人の移動以後の南アジアの文化、国家の発展について概観し、南アジア世界の形成過程や文明の特質を説明できる。</p> <p>[西アジアの文明] ・西アジアの地理的特質、オリエント文明、イラン人の活動、アラブ人とイスラーム帝国の発展について概観し、西アジア世界の形成過程や文明の特質を説明できる。</p> <p>[ヨーロッパの文明] ・地中海世界とヨーロッパの地理的特質、ギリシア・ローマ文明、西ヨーロッパの封建社会の成立、ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向について概観し、キリスト教とヨーロッパ世界の形成過程や文明の特質を説明できる。</p> <p>[諸地域世界の交流] ・8世紀以降のユーラシアの海・陸のネットワークにおける諸地域世界の交流と再編が、近現代における世界の一体化につながっていく過程を説明できる。</p> <p>[世界の一体化とヨーロッパ] ・ルネサンスや宗教改革がおこった背景や、それら</p>

学習指導要領	スタンダード「基礎」
<p>イ 結び付く世界と近世の日本</p> <p>大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16世紀から18世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。</p>	<p>や、大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアとの接触・交流について知る。</p> <p>[アジアの諸帝国]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16世紀から18世紀までのアジアの諸地域が、安定した支配と経済の繁栄を背景に黄金時代を迎えたことを知る。 <p>[ヨーロッパの主権国家体制]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの主権国家体制の特質について知る。 <p>[大西洋三角貿易とアフリカ・アメリカ社会の変容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大西洋三角貿易の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容について知る。 <p>[世界の一体化の動きと近世の日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16世紀から18世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本について知る。
<p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成</p> <p>産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p>	<p>[産業革命と資本主義の確立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命と資本主義の確立について知る。 ・資本家・労働者が形成され、労働や社会生活の在り方が変化したことを知る。 <p>[フランス革命とアメリカ諸国の独立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランス革命とアメリカ諸国の独立について知る。

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<p>とともに、ヨーロッパによる海外進出について触れ、アジア交流圏への参入や、ラテンアメリカの征服・植民地化について理解する。</p> <p>[アジアの諸帝国]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16世紀から18世紀までのアジアの諸地域の安定した支配と経済的繁栄について理解する。 ・やがてアジア諸帝国の支配体制がゆるみ、ヨーロッパ諸国の進出にともない変容したことを理解する。 <p>[ヨーロッパの主権国家体制]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの主権国家体制の特質と形成過程を理解する。 <p>[大西洋三角貿易とアフリカ・アメリカ社会の変容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大西洋三角貿易による世界の一体化の進展とそれに伴うアフリカ・アメリカ社会の変容を理解する。 <p>[世界の一体化の動きと近世の日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16世紀から18世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本について、近隣諸国との関係を踏まえて理解する。 <p>[産業革命と資本主義の確立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命と資本主義の確立について、世界史的な視野でとらえさせ、経済や社会の変化を理解する。 ・資本家・労働者が形成され、労働や社会生活の在り方が変化し、労働運動や社会主義思想が成立したことを理解する。 <p>[フランス革命とアメリカ諸国の独立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ合衆国の独立とフランス革命、ラテンアメリカ諸国の独立を通して、大西洋世界で起こっ 	<p>がヨーロッパ社会に及ぼした影響などを説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代以降のヨーロッパ人の海外進出の過程を理解した上で、世界的規模の商業が国際関係に与えた影響などを説明できる。 <p>[アジアの諸帝国]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16世紀から18世紀までのアジア諸地域の繁栄について説明できる。 ・やがてアジア諸帝国の支配体制がゆるみ、ヨーロッパ諸国の進出にともない変容したことを説明できる。 <p>[ヨーロッパの主権国家体制]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主権国家体制の特質と形成過程を理解した上で、それが主権国家間の国際関係や人々の生活・文化に与えた影響などを説明できる。 <p>[大西洋三角貿易とアフリカ・アメリカ社会の変容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大西洋三角貿易におけるヨーロッパ内部や大陸間の経済分業体制の確立、アフリカ・アメリカ社会の変容について説明できる。 <p>[世界の一体化の動きと近世の日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人の来航が日本の社会に及ぼした影響や、日本人の海外渡航、幕藩体制下における近隣諸国との関係など、近世における世界の中の日本の位置付けについて説明できる。 <p>[産業革命と資本主義の確立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命の技術革新、交通革命などに触れ、産業資本主義が確立するとともに、19世紀半ばまでにイギリスの覇権が確立し、世界の構造的な一体化が進展したことを説明できる。 ・自由主義的風潮が広まる一方、労働運動や社会主義思想が成立した背景や、その後の社会に及ぼした影響について説明できる。 <p>[フランス革命とアメリカ諸国の独立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環大西洋間の諸地域に展開した政治的な動向を通して、啓蒙思想の影響を受けアメリカ合衆国と西

学習指導要領	スタンダード「基礎」
<p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本</p> <p>ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p>	<p>[自由主義・国民主義の進展]</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由主義と国民主義の進展について知る。 19世紀のイタリア・ドイツの統一について知る。 <p>[アメリカ合衆国の発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> アメリカ合衆国の西部への領土拡張と移民の流入、先住民やアフリカ系の人々に対する抑圧、南北戦争後の急速な工業化について知る。 <p>[アジア諸国の変貌]</p> <ul style="list-style-type: none"> 18世紀後半から19世紀までのアジア諸国の状況と、ヨーロッパ諸国の進出によって引き起こされた変化について知る。 18世紀後半から19世紀までのアジア諸帝国の動揺と、それに対する社会変革へのアジアの主体的な動きについて知る。 <p>[日本の開国と近代化]</p> <ul style="list-style-type: none"> 19世紀の世界の一体化と日本の開国・明治維新について知る。

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<p>た一連の政治的変動を理解する。</p> <p>[自由主義・国民主義の進展]</p> <ul style="list-style-type: none"> ウィーン体制下で自由主義・国民主義が高まりをみせ、19世紀後半にはイタリア・ドイツなどで国民国家が形成されたことを理解する。 <p>[アメリカ合衆国の発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> アメリカ合衆国の西部への領土拡張と移民の流入、先住民やアフリカ系の人々に対する抑圧がこの国の国民形成に独自の性格を与えるとともに、南北戦争後の産業資本家が主導した工業化の進展について理解する。 <p>[アジア諸国の変貌]</p> <ul style="list-style-type: none"> 18世紀後半から19世紀までのアジア諸国の支配体制の動揺と、ヨーロッパ諸国の進出により伝統的な国家体制や貿易構造の変化が引き起こされたことを理解する。 18世紀後半から19世紀までのアジアの諸帝国の動揺と伝統文化の変容などに触れ、それに対する社会変革へのアジアの主体的な動きについて理解する。 <p>[日本の開国と近代化]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の近代化の過程について、他のアジア諸国との関係など、世界の歴史の中での日本の位置付けを理解する。 	<p>ヨーロッパに近代民主主義社会の基礎が成立した過程を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ラテンアメリカ諸国については、独立後の政治・社会の特色と欧米諸国への経済的従属や独自の文化形成を説明できる。 <p>[自由主義・国民主義の進展]</p> <ul style="list-style-type: none"> ウィーン体制下での自由主義・国民主義の運動が高まり、19世紀後半にはイタリア・ドイツなどで国民国家が形成される一方で、東方問題など、中欧、東欧における民族間の対立を招いたことを説明できる。 <p>[アメリカ合衆国の発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> アメリカ合衆国の西部への領土拡張と移民の流入、先住民やアフリカ系の人々に対する抑圧の具体的な事例を挙げ、説明できる。 南北戦争後の産業資本家が主導した工業化の進展について説明できる。 <p>[アジア諸国の変貌]</p> <ul style="list-style-type: none"> 18世紀後半から19世紀までのアジア諸国の支配体制の動揺と、ヨーロッパ諸国のアジア諸地域への進出の結果、ヨーロッパを中心とする国際的分業体制に組み込まれていったことを説明できる。 18世紀後半から19世紀までのアジアの諸帝国における動揺と、伝統文化の変容について説明できる。 アジア諸国の抵抗、近代化の動き、民族意識を形成など、社会変革へのアジアの主体的な動きについて説明できる。 <p>[日本の開国と近代化]</p> <ul style="list-style-type: none"> 19世紀の世界の一体化と日本の近代化の過程を、日本と他のアジア諸国の歴史を相互に比較して説明できる。

学習指導要領		スタンダード「基礎」
(3) 地球社会と日本 ア 急変する人類社会 科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。 イ 世界戦争と平和 帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。	[第二次産業革命] ・第二次産業革命による交通・通信・マスメディアの発達や、企業の巨大化、国家の役割の増大、公教育の普及について知る。 [国際的な移民の増加] ・19世紀後半から国際的な移民が増加したことを知る。 [大衆社会の出現] ・大量生産・大量消費社会の登場により、社会が大衆化したことを知る。 [帝国主義] ・帝国主義諸国の抗争と日本を含むアジア・アフリカの対応について知る。 [第一次世界大戦とロシア革命] ・第一次世界大戦が始まった原因と性格について知る。 ・大戦中にロシアで社会主義革命が起こったことを知る。 [第一次世界大戦後の国際秩序] ・国際連盟やヴェルサイユ体制・ワシントン体制の理念について知る。 ・アジア諸地域の民族運動が高揚したことを知る。	

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
[第二次産業革命] ・第二次産業革命による交通・通信・マスメディアの発達とそれに伴う産業構造の変化、企業や国家の巨大化、国家の役割増大による国民統合の進展を理解する。 [国際的な移民の増加] ・ヨーロッパから南北アメリカやオセアニアへの大規模な移住、中国や南アジアから大量の移民労働者の供給について理解する。 [大衆社会の出現] ・大量生産・大量消費社会の登場による社会の大衆化の過程で変容した政治や文化について理解する。 [帝国主義] ・欧米の帝国主義諸国が植民地獲得や勢力圏拡大の抗争を繰り広げ、一方で日本を含むアジア・アフリカ諸国ではナショナリズムが高揚していく意義を理解する。 [第一次世界大戦とロシア革命] ・第一次世界大戦の原因や戦時下の総力戦体制の性格、戦争がもたらした世界の変化について理解する。 ・大戦中にロシアではじまった社会主義革命が起こったことを理解する。 ・第一次世界大戦が日本の政治や経済などに与えた影響について理解する。 [第一次世界大戦後の国際秩序] ・国際連盟やヴェルサイユ体制・ワシントン体制の理念に着目し、第一次世界大戦後の国際社会の枠組みが大きく変化したことを理解する。 ・アジア諸地域の民族運動の動向について理解する。	[第二次産業革命] ・第二次産業革命に伴う産業構造の変化によって、企業や国家の巨大化など社会の変化に伴い、世界の一体化が進んだことを説明できる。 ・国家の役割が増大し、公教育が普及し国民統合が進展したことを説明できる。 [国際的な移民の増加] ・19世紀後半に移民労働者が世界の労働力市場に供給されたことを、需要の背景や、交通・通信・マスメディアの発達と関連付けて説明できる。 [大衆社会の出現] ・大量生産・大量消費社会の登場による大衆社会の成立により民主主義が進展したことを説明できる。 [帝国主義] ・欧米の帝国主義諸国が植民地獲得や勢力圏拡大の抗争を繰り広げ、一方で日本と他のアジア・アフリカ諸国の歴史を相互に比較し、各国でナショナリズムが高揚していく意義を説明できる。 [第一次世界大戦とロシア革命] ・第一次世界大戦の原因や戦時下の総力戦体制の性格、オーストリアなどの帝国の崩壊と東欧の民族自決など戦争がもたらした世界の変化を説明できる。 ・大戦中にロシアではじまった社会主義革命の過程を説明できる。 ・第一次世界大戦が日本の政治や経済などに与えた影響について説明できる。 [第一次世界大戦後の国際秩序] ・国際連盟やヴェルサイユ体制・ワシントン体制の理念や、アメリカ合衆国の国際的影響力が急増したことに着目し、第一次世界大戦後の国際社会の枠組みが大きく変化したことを説明できる。 ・アジア諸地域の民族運動の動向と、これに対する日本の対応について説明できる。

学習指導要領	スタンダード「基礎」
<p>ウ 三つの世界と日本の動向 第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p> <p>エ 地球社会への歩みと課題 1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p>	<p>[世界恐慌とファシズムの台頭] ・世界恐慌とその対応が、ファシズムの台頭や新たな国際対立を生み出したことを知る。</p> <p>・東アジアにおける日本の動向について知る。</p> <p>[第二次世界大戦] ・第二次世界大戦について、戦争の被害の甚大さや戦争の複合的な性格について知る。</p> <p>[冷戦のはじまり] ・米ソ両陣営の対立による冷戦の構図について知る。</p> <p>[第三世界の台頭] ・アジア・アフリカの植民地支配からの解放、第三世界の形成について知る。</p> <p>[1960年代の世界] ・米ソ両国の指導力低下に伴う多極化について知る。</p> <p>[市場経済のグローバル化] ・ドル危機や石油危機など 1970年代の経済構造の転換について知る。</p>

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<p>[世界恐慌とファシズムの台頭] ・世界恐慌とその対応が、ドイツのナチズムなどファシズムの台頭や新たな国際対立を生み出したことを理解する。</p> <p>・東アジアにおける国際情勢と日本の動向について理解する。</p> <p>[第二次世界大戦] ・第二次世界大戦について、戦争被害の甚大さや複合的な性格、戦後の国際連合の設立や国際政治に与えた影響を理解する。</p> <p>[冷戦のはじまり] ・米ソ両陣営の対立による冷戦の構図と、両陣営の核兵器や人工衛星の開発による緊張関係の激化について理解する。</p> <p>[第三世界の台頭] ・アジア・アフリカの植民地が解放され、第三世界として国際社会において発言権を強めたことを理解する。</p> <p>[1960年代の世界] ・ヴェトナム戦争、中ソ対立による米ソ両国の指導力低下に伴い、多極化が進んだことを理解させる。 ・先進国の間に南北問題が顕在化してきたことを理解させる。</p> <p>[市場経済のグローバル化] ・1970年代のドル危機と、石油危機を打開するために、先進諸国は産業構造を転換し、新興工業地域では欧米や日本などから技術や資本を導入して工業化を進めるなど、市場経済のグローバル化が進展したことを理解する。</p>	<p>[世界恐慌とファシズムの台頭] ・世界恐慌に対するニューディール政策などの各国の対応について説明できる。またこのことが、ドイツのナチズムなどファシズムの台頭や新たな国際対立を生み出したことを説明できる。</p> <p>・東アジアにおける国際情勢について、中国をめぐる国際社会の動きと日本国内の状況を照応させながら説明できる。</p> <p>[第二次世界大戦] ・戦争の過程で生じてくる米ソの対立構造が戦後の国際連合の成立や、国際政治に影響を与えたことを説明できる。</p> <p>[冷戦のはじまり] ・米ソ両陣営の対立による冷戦の構図と、集団安全保障体制の強化について説明できる。また核兵器や人工衛星の開発など科学技術の発達緊張関係を激化させたことを説明できる。</p> <p>[第三世界の台頭] ・アジア・アフリカの植民地が解放され、第三世界として国際社会において発言権を強めたことを説明できる。一方で、国内における経済問題・民族問題が起こっていることを説明できる。</p> <p>[1960年代の世界] ・ヴェトナム戦争、中ソ対立による米ソ両国の指導力低下に伴い、西ヨーロッパの自立をはじめ多極化が進んだことを説明できる。 ・途上国での政情不安により、途上国と先進国との間に南北問題が顕在化してきたことを説明できる。</p> <p>[市場経済のグローバル化] ・1970年代以降の先進諸国の経済構造の転換やアジアの工業化が促進されたことによる市場経済のグローバル化の進展と功罪について説明できる。</p>

学習指導要領	スタンダード「基礎」
<p>オ 持続可能な社会への展望</p> <p>現代世界の特徴や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>[冷戦の終結と社会主義体制の崩壊]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の終結と社会主義体制の崩壊について知る。 <p>[地域統合の動き]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EU などの地域統合の進展について知る。 <p>[地域紛争の頻発]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界各地で頻発している地域紛争の原因が多様であることを知る。 <p>[地球社会の歩みと課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境や資源・エネルギーをめぐる問題など今日的課題について知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現のためには、環境の保全、経済の開発、社会の発展をそれぞれの調和の下に進めていく必要があることを理解し、歴史的視野からそれらの問題に関する認識を深め、世界の人々が協調し、共存できる持続可能な社会の実現について展望する。

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<p>[冷戦の終結と社会主義体制の崩壊]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の終結や社会主義体制の相次ぐ崩壊により、東欧諸国やソヴィエト連邦が政治的に自由化し、市場経済へ移行する過程を理解する。 <p>[地域統合の動き]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパにおける地域の経済的統合から、EU による国民国家の枠を越えた政治的統合への発展への過程を理解する。 <p>[地域紛争の頻発]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パレスチナ紛争など世界各地で頻発している地域紛争の歴史的背景を理解する。 <p>[地球社会の歩みと課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識基盤社会への移行に伴う生活の向上と、環境や資源・エネルギーをめぐる問題など今日的課題について理解する。 	<p>[冷戦の終結と社会主義体制の崩壊]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会主義経済の停滞が原因となり、東欧諸国やソヴィエト連邦の政治的自由化が進行し、市場経済への移行が不可避となった結果として、冷戦の終結が促され、社会主義体制が相次いで崩壊したことを説明できる。 <p>[地域統合の動き]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EU の形成過程を踏まえ、世界各地で地域統合や地域協力を目指す動きが活発化していることを説明できる。 <p>[地域紛争の頻発]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パレスチナ紛争など世界各地で頻発している地域紛争の歴史的背景を、既習事項をふまえて説明できる。 <p>[地球社会の歩みと課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識基盤社会の特徴を理解し、環境や資源・エネルギーをめぐる問題など今日的課題から、地球社会の在り方について説明できる。

教科：地理歷史 科目：世界史A